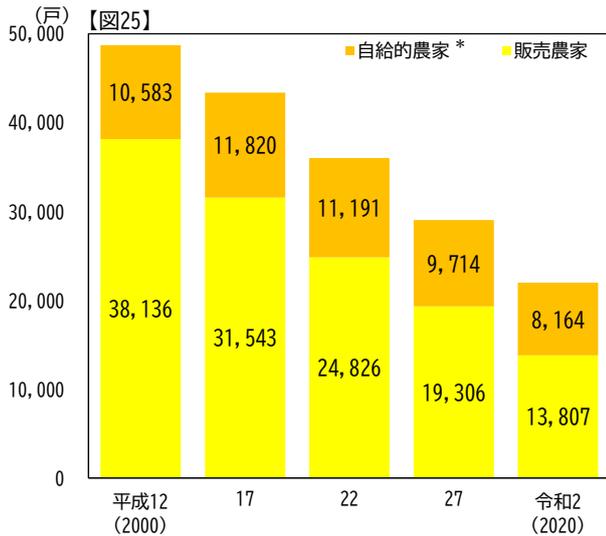


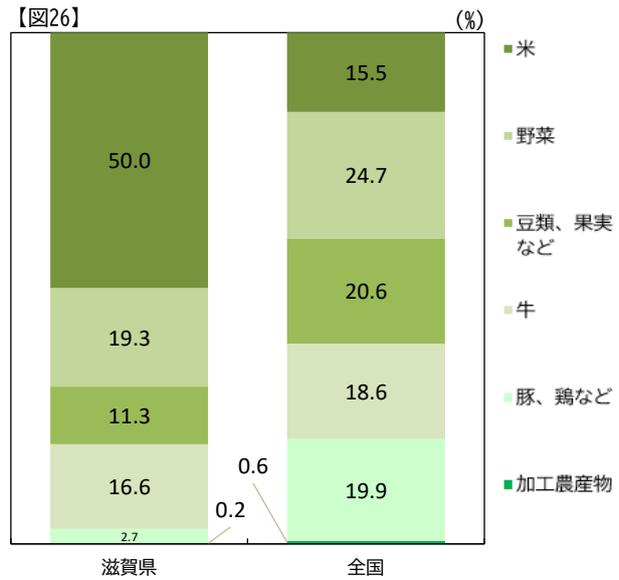
農林水産業

■ 農家数の推移



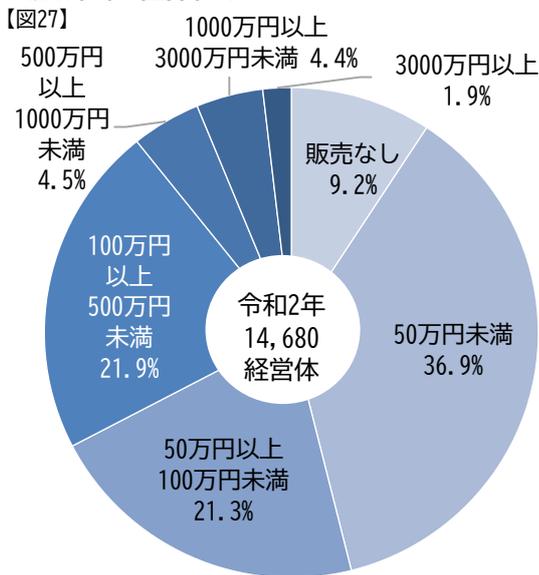
* 経営耕地面積が30a未満かつ調査期日前1年間における農産物販売金額が50万円未満の農家
「農林業センサス」 農林水産省 (各年2月1日現在)

■ 農業産出額の品目別構成比



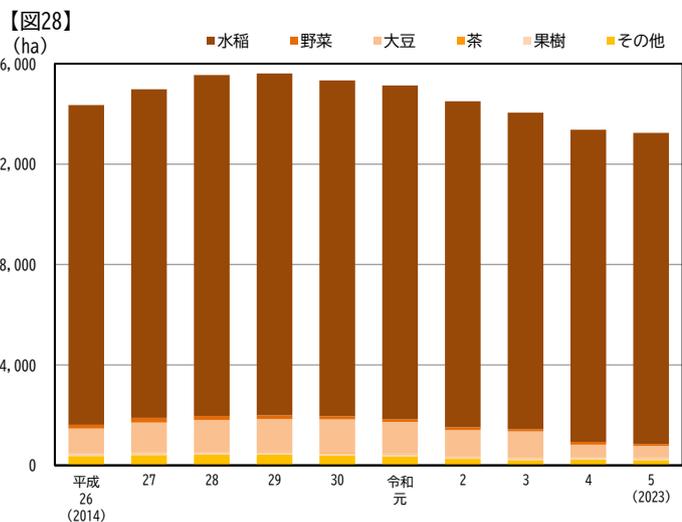
「生産農業所得統計」 農林水産省 (令和4年)

■ 農産物販売金額規模別 農業経営体数



「2020年農林業センサス」 農林水産省

■ 環境こだわり農産物*栽培面積の推移



* 農薬や化学肥料の使用量を通常の半分以下に減らし、環境への影響を小さくして生産した農産物

※ 「面積」とは、生産計画認定面積を指します。

県みらいの農業振興課

くらしの数字

5年以内に農業を引き継ぐ後継者を確保している経営体の割合 **28.6%** (全国10位)
「2020年農林業センサス」 農林水産省

令和2年2月1日現在の農家数は21,971戸で、20年前と比較して54.9%減少。【図25】

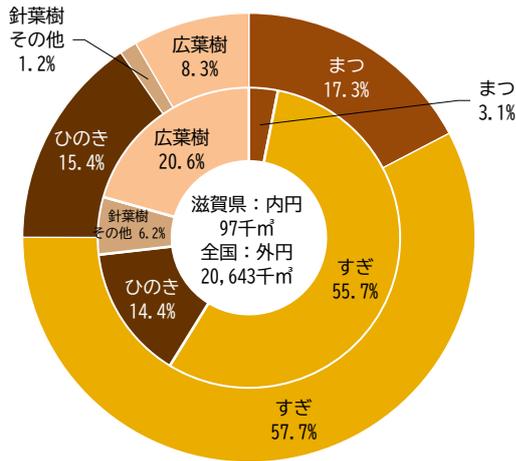
令和4年の農業産出額は602億円で、大豆の産出額は21億円で全国第3位、
小豆1億円、みずな5億円、かぶ4億円で、いずれも全国第4位。【図26】

農業経営体のうち、農産物販売金額が50万円未満(「販売なし」を含む)の経営体は全体の46.1%。【図27】

環境こだわり農産物の栽培面積は、認証制度が始まった平成13年度は393.7haだったが
令和5年度は13,284haと約34倍に。【図28】

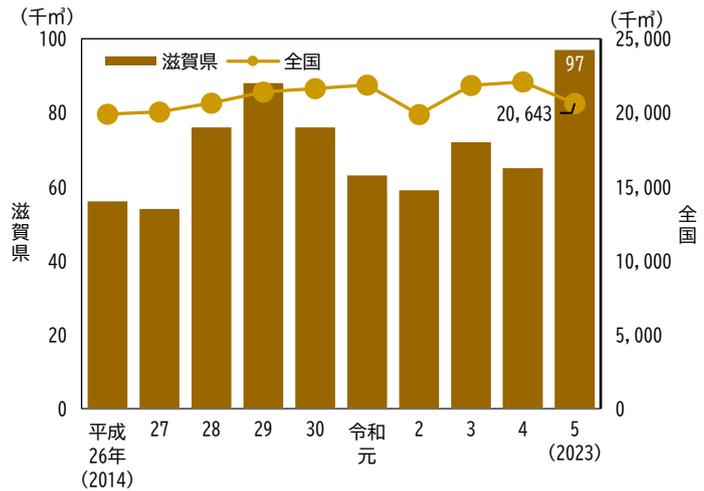
■素材生産量

【図29】 樹種別素材生産量



「木材統計調査」農林水産省（令和5年）

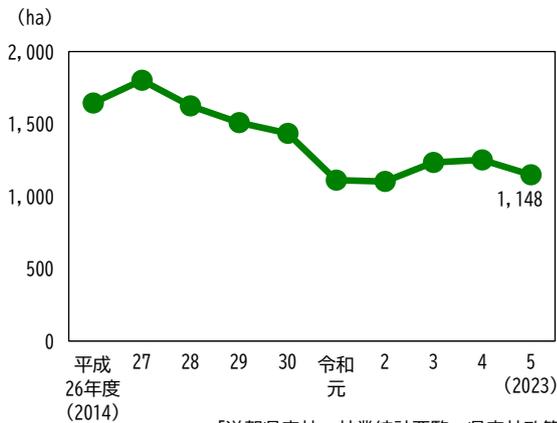
【図30】 素材生産量の推移



「木材統計調査」農林水産省

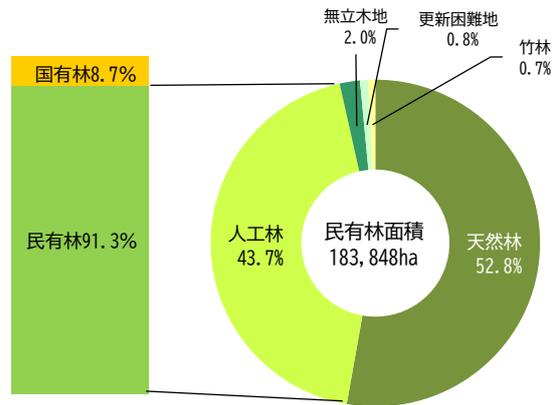
■森林面積

【図31】 間伐実施面積の推移



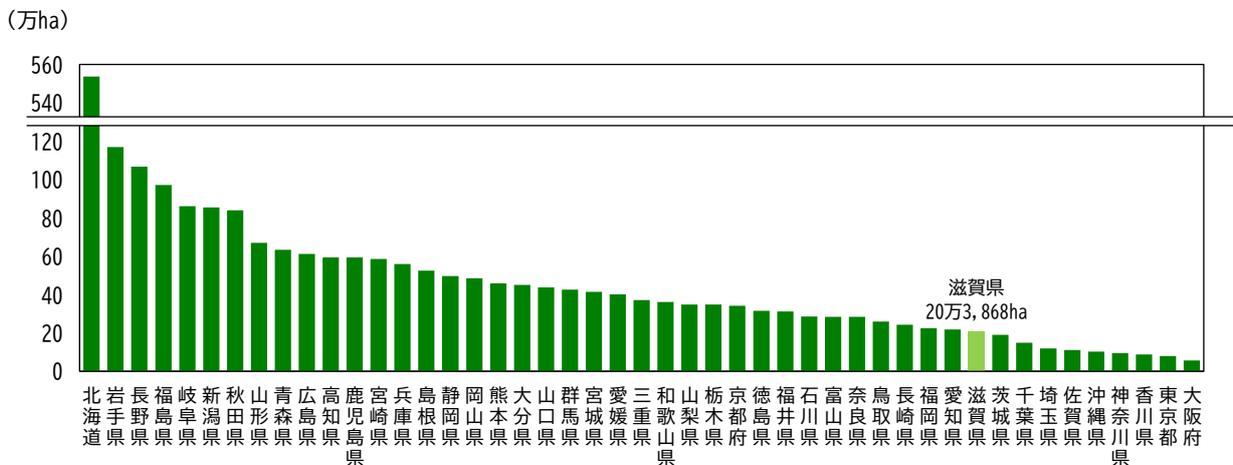
「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課

【図32】 森林面積の割合



「滋賀県森林・林業統計要覧」県森林政策課（令和5年度）

【図33】 都道府県別森林面積



林野庁（令和4年3月31日現在）

素材生産量の全国1位は北海道で300万8千㎡。2位宮崎県200万1千㎡、3位岩手県123万5千㎡と続く。【図30】

間伐とは、成長に伴って混みすぎた林の立木を一部抜き刈りすること。

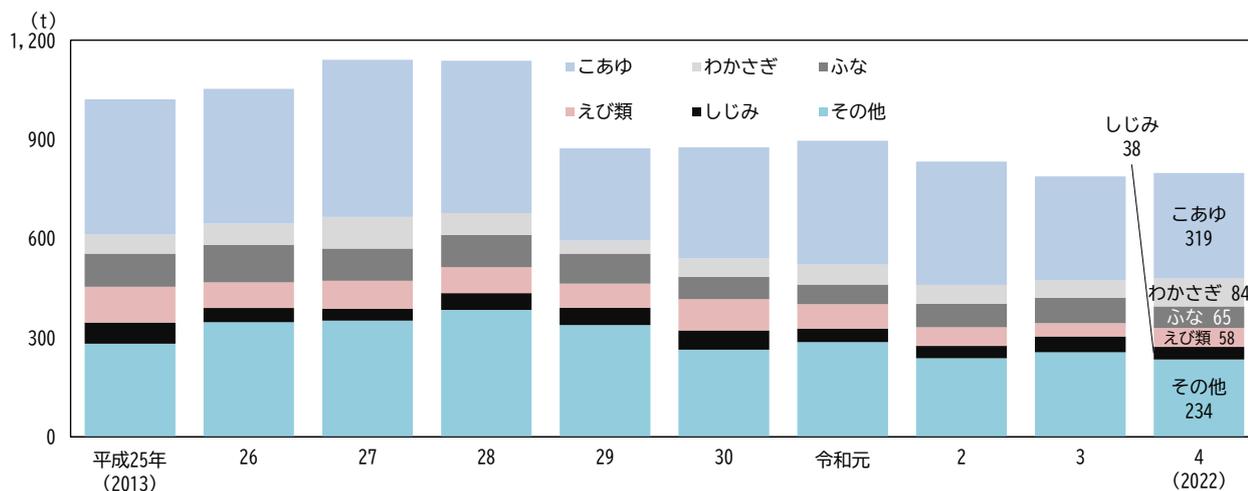
間伐を行うことで光が地表に届くようになり、風害や山地災害に強くなるなどの利点がある。【図31】

滋賀県の県土に占める森林の割合は50.7%。

全国の森林面積は約2500万ヘクタール(約25万平方キロメートル)。国土の66.2%が森林である。【図33】

琵琶湖の漁獲量の推移（魚種別）

【図34】

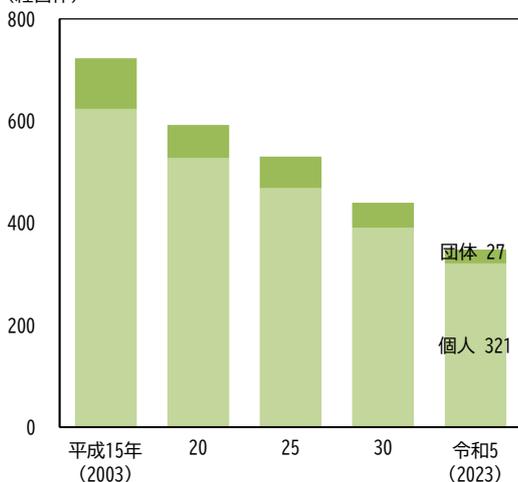


「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省

琵琶湖の漁業経営体数の推移

【図35】

(経営体)

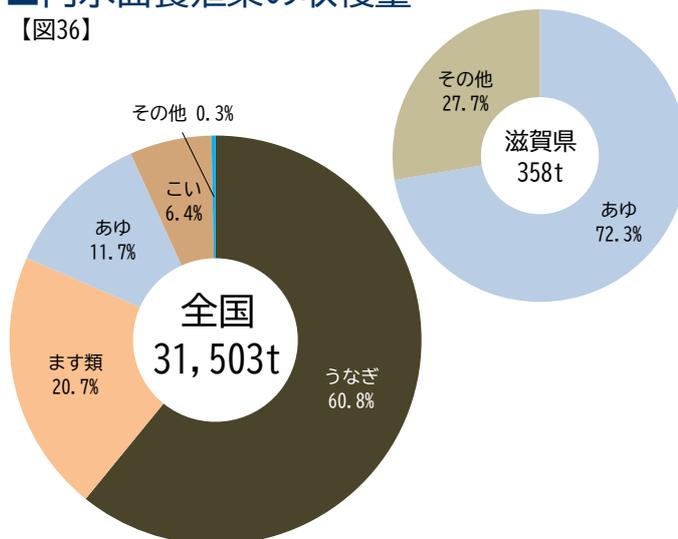


※ 団体経営体および年間湖上作業従事日数30日以上
個人経営体に関する数値。

「漁業センサス」 農林水産省

内水面養殖業の収穫量

【図36】



※ 琵琶湖養殖を含む。

「内水面漁業生産統計調査」 農林水産省（令和4年）

くらしの数字

就業者1人当たり農業産出額
(個人経営体)
(令和4年度)

全国14位 604.4万円

全国1位 北海道 1,828.8万円
全国2位 鹿児島県 1,360.8万円
全国3位 宮崎県 1,110.2万円

「統計でみる都道府県のすがた2025」
総務省統計局

くらしの数字

土地生産性
(耕地面積1ha当たり)
(令和4年度)

全国43位 119.2万円

全国1位 宮崎県 544.3万円
全国2位 山梨県 501.7万円
全国3位 鹿児島県 457.4万円

「統計でみる都道府県のすがた2025」
総務省統計局

くらしの数字

耕地面積
(農家1戸当たり)
(令和5年度)

全国16位 22,757.3㎡

全国1位 北海道 303,505.9㎡
全国2位 青森県 40,696.6㎡
全国3位 秋田県 39,336.1㎡

「統計でみる都道府県のすがた2025」
総務省統計局

琵琶湖の鮎は「こあゆ」と呼ばれているとおり琵琶湖ではあまり大きくならない。
しかし、他の河川では大きくなることが確認され、
大正13年からは「あゆ苗」として全国の河川に放流されるようになった。【図36】